

豊橋市マスコット
「トヨッキー」

豊橋市 市民協働推進 補助事業

平成27年度



オレンジプラザマスコット
「アーリーくん」

平成27年度 豊橋市市民協働推進補助金 事業報告会

平成28年7月1日（金）9時30分～
豊橋市役所 市民ギャラリー

目 次

補助金 の種類	団体	事業	頁
つつじ	上を向いて歩こう・みんなで歌おう	上を向いて歩こう・みんなで歌おう	1
つつじ	特定非営利活動法人 手しごと屋	高齢者の病気と介護食ー管理栄養士から学ぶ食と栄養の基本	3
つつじ	まちづくり相談会	おしゃべりカフェえんがわ	5
つつじ	岩田校区 支え合い活動「のん・ほい」	岩田校区 支え合い活動「のん・ほい」	6
つつじ	姫街道「おもてなしの会」	姫街道「おもてなし」活動	7
つつじ	二川さくら守の会	二川さくら守の会	9
くすのき	豊橋空襲を語りつぐ会	豊橋空襲70周年「豊橋空襲体験記」の発行	10
くすのき	金田住宅ふれあいサロン世話人会	金田住宅ふれあいサロン	11
くすのき	石巻西川町カタクリ山保存会	明日も咲かそうカタクリの花	12
くすのき	豊橋ふれあい子ども将棋教室	第2回 豊橋ふれあい親子ペア将棋大会	13
くすのき	特定非営利活動法人 福祉住環境地域センター	第8回ゆいフィールコンサート	14
くすのき	特定非営利活動法人 たすけあい三河	第5回市民後見フォーラム	16
くすのき	ひまわりの会	ひまわりの会 ひきこもりの勉強会	18
くすのき	みなと塾	前芝 川灯ろうまつり	19
くすのき	特定非営利活動法人 オアシス G・J・B	在宅高齢者のふれあい健康増進コミュニティ	20

・つつじ補助金 設立後5年未満 補助率 10/10 上限 5万円

・くすのき補助金 設立後2年以上 1回目 補助率 2/3

2回目 補助率 1/2

3回目 補助率 1/3 3回とも上限 30万円

(平成24年度以前に1回目の交付を受けた事業は3回とも補助率 1/2)



事業名	上を向いて歩こう・みんなで歌おう
団体名	上を向いて歩こう・みんなで歌おう

項 目	内 容
事業の概要 (取組みの内容) ※イベントや会議など人が集まる事業を実施した場合は、実施日時及び参加者数を必ず記入してください。	・歌声喫茶“上を向いて歩こう・みんなで歌おう”を開催。心に残っている歌や昔懐かしい青春ソングを生伴奏（キーボード、ギター、コントラバス、ドラムス、フルート）でみんなで歌う。 第13回 5/12 は 65 名参加、第14回 7/14 は 74 名参加、 第15回 9/8 は 87 名参加、第16回 11/10 は 72 名参加、 第17回 1/18 は 67 名参加、第18回 3/14 は 70 名参加、 いずれも東部老人会館においてAM10:00～12:00開催。 休憩時間を利用してソロでの楽器演奏、ハワイアンダンス、健康講座等を行った。 ・出前歌声喫茶として10/4に町内秋祭りイベントに参加し、野外にて開催。約200名が参加。 ・演奏メンバーが4名増え8名に。レッスンを月2回必ず行っている。 ・周知方法としてはチラシを町内回覧と参加者に年3回はがきで例会日を知らせる。 ・歌いたい曲や会の進め方について参加者に3回のアンケートをとり、参考にして次回の歌声にリクエスト曲集としてまとめた。 総事業費：75,529円（内補助金：50,000円）
事業の成果等 (事業を実施した結果、どう変わったかなど)	それぞれが大なり小なり老後の不安を感じているシニア世代を対象にしている、外出の機会を持ってもらうとともに、出会いや交流の場としても利用して頂いている。 大きな声で歌を歌うことは体の為にととてもよく、ストレスの解消や健康維持に役立っている。「すっきりするわ」との声をよく聞く。 地域で音楽活動をされている方も何人かいて活動発表の場としても利用してもらっている。 (シャンソン独唱、チェロ独奏、ハワイアンダンスと歌等) 補助事業に伴い、ワクワク広場への掲載等で町内だけでなく豊橋市全体に活動を知ってもらうことができ、参加者数や範囲も広がった。問い合わせもたくさんあった。

今後の見通し (事業実施後の課題、今後の取組みなど)	まずは歌声喫茶のさらなる充実を図るため、参加者のリクエスト曲を中心に飽きのこない選曲をする。また、演奏のレベルアップに努める。 今年7月に豊橋医療センターホスピス病棟での出前歌声ボランティアが決定している。 今後もいろいろな場所での出前歌声を行っていきたい。例えば介護施設、幼稚園、イベント。(プロジェクターがあれば便利) 例会時一息つく形で、簡単なゲームや脳トレ、健康体操、終活講座など取り入れていきたい。 地域以外の参加者から全然知らなかったとの声があり、より良い周知の方法を考えなければと思っている。
---------------------------------------	--



事業名	特定非営利活動法人 手しごと屋
団体名	高齢者の病気と介護食－管理栄養士から学ぶ食と栄養の基本

項 目	内 容
事業の概要 (取組みの内容) ※イベントや会議など人が集まる事業を実施した場合は、実施日時及び参加者数を必ず記入してください。	高齢者の病気と食事 全5回の講義と季節に合った献立と調理実習 第1回 27年5月24日 高齢者の病気と栄養素の基本 参加者 市民2名 スタッフ8名 講 義 栄養の基本のQ&A 第2回 27年 7月4日 理論と実習 夏の食事 参加者 市民2名 スタッフ8名 講 義 「熱中症について」 調理実習 献立 牛肉の三食巻き・エビのサラダ・揚げナス浸し 七夕寄せ 一食の熱量 413Kcal、蛋白質 23.4g、塩分 2.8g 第3回 27年10月3日 理論と実習 秋の食事 参加者 市民3名 スタッフ7名 講 義 「血管の若返りを心がけよう」－さらさら血液10か条－ 調理実習 献立 きのことご飯・さわらのホイル焼き・けんちん汁 ミモザサラダ 一食の熱量 594Kcal、蛋白質 30.1g、塩分 3.48g 第4回 27年12月5日 理論と実習 冬の食事 参加者 市民2名 スタッフ8名 講 義 「介護食について」 調理実習 献立 チキンピカタ・クリームシチュー・大根サラダ オレンジゼリー 一食の熱量 611Kcal、蛋白質 27.1g、塩分 3.4g 第5回 28年 3月5日 理論と実習 春の食事 参加者 市民7名 スタッフ3名 講 義 「骨粗鬆症について」予防＝カルシウム、運動、日光 調理実習 献立 菜飯・鮭の野菜甘酢あん・茶碗蒸し 菜花のからい和え 一食の熱量 560Kcal、蛋白質 43.1g、塩分 4g 総事業費：53,406円 (内補助金：50,000円)

事業の成果等 (事業を実施した結果、どう変わったかなど)	1.講義から 高齢者のための食事のポイント、基本 これまで3年間デイの利用者さんに提供してきた食事の疑問点をスタッフから質問事項を提出し、渡辺先生に第1回の講義時にQ&A形式で回答していただいた。 栄養、カロリー、食事のバランス、献立の立て方などを明確な回答をいただき今後の調理に活かせる確信を得ることができた。 2.実習から 一汁三菜を中心にした献立は、高齢者の一日の摂取カロリー、蛋白質、塩分などがわかり今後の調理に活かせることができた。さらに季節の野菜を使った副食はカロリー的に高齢者には最適であった。
今後の見通し (事業実施後の課題、今後の取組みなど)	デイに通所してくる高齢者の一番の楽しみは食事です。 これまでも評判の良い食事の提供をしているが、今後も今回の講義と調理実習で学んだことを取り入れて、提供していきたい。 ①毎日の献立に苦慮しているが、メインの料理の肉、魚で一日の蛋白質が取れ、調理方法も様々あることが実習でき勉強になった。 ②季節のあった旬の食材を取り入れる。 ③高齢者といえども低栄養に気を付けることが大事で、せめてデイでの昼食は摂取カロリーの1/3にするような献立を立てる。 ④病歴のある人には、食してはいけない食材に気を付ける。 ⑤インスタントは避け、手作りの料理にすれば必要なカルシウムも摂取でき骨粗しょう症の予防にもなる。



事業名	まちづくり相談会
団体名	おしゃべりカフェえんがわ

項 目	内 容																																				
事業の概要 (取組みの内容) ※イベントや会議など人が集まる事業を実施した場合は、実施日時及び参加者数を必ず記入してください。	<table><thead><tr><th>日 時</th><th>内 容</th><th>参加者数 ()は会員数</th></tr></thead><tbody><tr><td>H27 5. 8</td><td>おしゃべりタイム</td><td>4人 (4)</td></tr><tr><td>6.12</td><td>和菓子作り</td><td>7人 (4)</td></tr><tr><td>7.10</td><td>おしゃべりタイム</td><td>2人 (3)</td></tr><tr><td>8.21</td><td>小物作り (どんぐり付マグネット)</td><td>8人 (3)</td></tr><tr><td>9.11</td><td>小物作り (折り紙)</td><td>7人 (3)</td></tr><tr><td>10. 9</td><td>小物作り (牛乳パック小物入れ)</td><td>9人 (3)</td></tr><tr><td>11.13</td><td>小物作り (マフラー)</td><td>9人 (4)</td></tr><tr><td>12.11</td><td>小物作り (マフラー)</td><td>10人 (4)</td></tr><tr><td>H28 1.15</td><td>小物作り(アクリルため)</td><td>11人 (4)</td></tr><tr><td>2.19</td><td>小物作り (折り紙)</td><td>10人 (4)</td></tr><tr><td>3.11</td><td>防災教室 (防災食作り)</td><td>14人 (3)</td></tr></tbody></table> 【防災教室について】 3.11 東日本大震災があった日です。 この地域にもいつ起こるかわかりませんので、この日に防災・防火について学習会を行うことにしました。 学習会の他にも簡単にできる防災食のご紹介、試食を用意。 【日 時】平成28年3月11日 (金) 午前10:00~12:00 【場 所】豊岡地区市民館 【参加費】100 円 【申込み】必要なし 【講 師】消防本部 予防課 総事業費：64,814円 (内補助金：50,000円)	日 時	内 容	参加者数 ()は会員数	H27 5. 8	おしゃべりタイム	4人 (4)	6.12	和菓子作り	7人 (4)	7.10	おしゃべりタイム	2人 (3)	8.21	小物作り (どんぐり付マグネット)	8人 (3)	9.11	小物作り (折り紙)	7人 (3)	10. 9	小物作り (牛乳パック小物入れ)	9人 (3)	11.13	小物作り (マフラー)	9人 (4)	12.11	小物作り (マフラー)	10人 (4)	H28 1.15	小物作り(アクリルため)	11人 (4)	2.19	小物作り (折り紙)	10人 (4)	3.11	防災教室 (防災食作り)	14人 (3)
日 時	内 容	参加者数 ()は会員数																																			
H27 5. 8	おしゃべりタイム	4人 (4)																																			
6.12	和菓子作り	7人 (4)																																			
7.10	おしゃべりタイム	2人 (3)																																			
8.21	小物作り (どんぐり付マグネット)	8人 (3)																																			
9.11	小物作り (折り紙)	7人 (3)																																			
10. 9	小物作り (牛乳パック小物入れ)	9人 (3)																																			
11.13	小物作り (マフラー)	9人 (4)																																			
12.11	小物作り (マフラー)	10人 (4)																																			
H28 1.15	小物作り(アクリルため)	11人 (4)																																			
2.19	小物作り (折り紙)	10人 (4)																																			
3.11	防災教室 (防災食作り)	14人 (3)																																			
事業の成果等 (事業を実施した結果、どう変わったかなど)	当初、参加者が少なかったが参加した人からの声掛けもあり、月を追うごとに参加人数も徐々に増えて来た。 計画の料理教室、小物作り、防災教室も順調に終える事が出来た。 成果としてお互い面識のない方でも親しくなり和やかな会話を楽しむ事が出来るようになった。																																				
今後の見通し (事業実施後の課題、今後の取組みなど)	おしゃべりカフェ「えんがわ」の PR をし、参加者の意向をどの様に運営にくみ入れていくか考えながら月1回の会を充実させていきたい。																																				



事業名	岩田校区 支え合い活動「のん・ほい」
団体名	岩田校区 支え合い活動「のん・ほい」

項 目	内 容
事業の概要 (取組みの内容) ※イベントや会議など人が集まる事業を実施した場合は、実施日時及び参加者数を必ず記入してください。	平成27年度支え合い活動状況 受付件数34件 実施件数18件 実働人員23人 草むしり 8件 掃除・庭木の枝切り 各2件、 ゴミ出し・家具の移動・留守中の水やり 各1件 その他(家の中の整理、背中の湿布張替、新聞古紙回収のため道路脇まで運搬、洗濯機を車の荷台へ運搬、選択) 5件 ボランティア交流会 平成27年9月13日(日) 13:30~14:30 岩田校区市民館集会室 参加人数 22名 コーディネーター会 毎月1回 参加人数10名 周知活動(各町のチラシ回覧、校区行事にチラシ配布、各町自治会及び老人会の集会にて周知並びにチラシ配布等) 豊橋市長寿介護課主催の支え合いフェアに参加 平成28年3月13日(日) 10:00~15:30 ミナクル 総事業費: 82,558円(内補助金: 50,000円)
事業の成果等 (事業を実施した結果、どう変わったかなど)	依頼者は、生活の不安が解消され、自分は独りでないと感じ、良好な人間関係の再構築に繋がった。 ボランティアも人の役にたち喜びとやりがいを感じている。 コーディネーターは、ボランティアさんが快くお手伝いしてくれて地域のコミュニティの活性化を感じている。 支え合い活動を考えている他校区等の積極的支援を行っている。 校区自治会や民生委員、老人クラブ、岩田校区担当の地域包括支援センター等の協力を得て、広報活動や支援を要している人やボランティアさんを紹介してもらい関係団体との結びつきが強くなっている。
今後の見通し (事業実施後の課題、今後の取組みなど)	高齢者を狙った詐欺が多く発生しているので、支援中や校区の行事に参加する時に“名入りベスト”を着用することで依頼者の信頼を得るとともに地域への周知活動を行う。 地域の人材を発掘し、ボランティアメンバーを増やすことで、多様な依頼や緊急な内容にも対応ができる体制を整えていく。 運営の構成メンバーには、様々な地域活動に従事したり、行政との繋がりを持つ人が多く、それぞれの分野でのノウハウを持っているので、お互いに情報交換し、支援を要する人に細かく手を差し伸べることができるよう活動を積み重ねていく。 依頼内容は様々で対応に迷うこともあるが、活動を積み重ねることにより会としてどこまでできるか、また行うべきか整理していく。



事業名	姫街道「おもてなし」活動
団体名	姫街道「おもてなしの会」

項 目	内 容
事業の概要 (取組みの内容) ※イベントや会議など人が集まる事業を実施した場合は、実施日時及び参加者数を必ず記入してください。	姫街道は、万葉集にも出てくる古くからの主要道で江戸時代には八代将軍・徳川吉宗の実母やその献上品象も通った記録もあり、自然景観の美しい街道である。 平成8年11月に文化庁の「歴史の道100選」に県内唯一の指定された街道であるが、安全安心な散策道といえないところがある。 そこで、四季を通して訪れるハイカーたちに自然環境や歴史への思いを満喫してもらおうと「姫街道おもてなしの会」を発足させた。 街道の整備保全等をして「おもてなし」の気持ちで迎え、観光の振興やまちづくりの活性化が図られることを願っている。 ☆主な「おもてなし活動」 (参加人数：延べ39人) (1) 平成27年11月22日 姫街道草刈り・枝打ち作業 9:00～11:30 …… 17人 (2) 平成27年12月23日、26日 間伐材での長椅子づくり① 9:00～11:30 …… 5人 (3) 平成28年1月9日、10日、25日 間伐材での長椅子づくり② 9:00～11:30 …… 6人 (4) 平成28年2月5日、6日、8日 間伐材での長椅子づくり③ 9:00～11:30 …… 5人 (5) 平成28年2月20日、27日 長椅子の設置 9:00～11:30 …… 3人 (6) 平成28年3月16日、21日 長椅子の設置 9:00～11:30 …… 3人 総事業費：55,193円 (内補助金：50,000円)
事業の成果等 (事業を実施した結果、どう変わったかなど)	姫街道「おもてなし活動」を終えての声など (1) 姫街道(里山～本坂峠)全体の倒木や雑木の伐採をしたことにより、広く明るくなり安全、安心な街道となった。 (2) 雨水等が荒れたところには、石段を組み歩き易くしたり、水の流れを変える誘導路をつくり、安全・安心な街道となった。 (3) ハイカー達からは、ところどころに長椅子が設置されているので、適宜休憩が取れるので喜ばれている。腰掛けの部分が一部平らになっているので物が置き易いという声もあった。 (4) 訪れるハイカーが腰掛けて一休みしたり、弁当を食べている姿が見られるようになった。 (5) 間伐材については予算化したが、無償提供の好意に助けられ、予定の数よりも多くの長椅子が完成した。

今後の見通し （事業実施後の課題、今後の取組みなど）	（１）「広報とよはし 12/15 号」の「わくわく活動広場」や Thank you ベリー街で校区の自然や歴史的遺産が紹介されたこともあり、問合せや環境整備等に協力的な人が現れた。 （２）市制 110 周年記念事業「地域の魅力、再発見！」にも取り上げられ、更なる地域の活性化が期待される。 （３）姫街道の沿道や国史跡の「嵩山の蛇穴」周辺の草刈は、年間 3 回以上が望ましい作業である。外部の協力者も出てきたので、会員の皆さんの元気で長寿を期待する。
---------------------------------------	---



事業名	二川さくら守の会
団体名	二川さくら守の会

項 目	内 容
事業の概要 (取組みの内容) ※イベントや会議など人が集まる事業を実施した場合は、実施日時及び参加者数を必ず記入してください。	作成中
事業の成果等 (事業を実施した結果、どう変わったかなど)	
今後の見通し (事業実施後の課題、今後の取組みなど)	



事業名	豊橋空襲 70 周年「豊橋空襲体験記」の発行
団体名	豊橋空襲を語りつぐ会

項 目	内 容
事業の概要 (取組みの内容) ※イベントや会議など人が集まる事業を実施した場合は、実施日時及び参加者数を必ず記入してください。	2015 年は、終戦から、また豊橋空襲から 70 周年になる。豊橋市で 1945 年 6 月 20 日に空襲があり、犠牲者 624 人・市内が焦土となった歴史的事実・戦争と空襲の惨禍・平和の大切さを広く伝える体験記を発行し、後世に残す。 完成した体験記は図書館・小中学校・高校等の希望されるところへ寄附することと、会員の中の希望者や、一般市民の皆さんへ有償で配布を行い、読んでいただくことで、戦争の悲惨さを疑似体験して頂き、平和の大切さを考えていただきます。 総事業費：1,022,409 円（内補助金：300,000 円）
事業の成果等 (事業を実施した結果、どう変わったかなど)	「続 豊橋空襲体験記」の内容は 2005 年発行の体験記に掲載の 14 編と、以降にいただいた 40 編を加え、体験記は 54 編掲載できました。他に 2010 年から募集している体験画もカラーで 31 点を掲載することができました。 また、戦災死者埋葬調書・豊橋市殉難者合同慰霊祭受付簿に掲載の空襲における戦死者と思われる方の名簿を 611 名記載することができました。 完成した体験記は生徒さんたちにも見ていただけるよう、豊橋市内の小学校・中学校・高校・大学へも配布させていただきました。
今後の見通し (事業実施後の課題、今後の取組みなど)	①「続 豊橋空襲体験記」の発行は、メディアにも大きく取り上げられ大きな反響を呼びました。豊橋空襲から 71 年、今や「記憶」の時代から「記録」の時代へ移り、その「記録」を普及しながら継承活動をどう進めるかが課題です。 ②体験記寄稿者や体験画を寄せられた方は、健在でおられる方が多い。リアルな体験や、体験画の原画を示しながら、学校や青年層などに肉声で語っていただくことなど創意工夫を凝らした継承活動の企画が課題です。なお、エフエム豊橋「70 年の記憶」では、ゲストとしてお呼びするとりくみを継続中です。 ③豊橋空襲犠牲者名簿をより正確にし、追加し、広く市民の皆さんに多数の犠牲者があった事実を伝えることが課題です。



事業名	金田住宅ふれあいサロン
団体名	金田住宅ふれあいサロン世話人会

項 目	内 容
事業の概要 (取組みの内容) ※イベントや会議など人が集まる事業を実施した場合は、実施日時及び参加者数を必ず記入してください。	①月に一度(第3日曜日)ふれあいサロン開催 年12回 参加者総数 493名 【内容】 (6、7、8、9、10、11、12、2、3月) 歌、踊り、参加者自己紹介、誕生日お祝い、ビンゴゲーム等 (4月) 屋外例会 マイクロバスでの花見 (5月) 出前講座 東三河広域連合企画の漫談 (H28年 1月) 出前講座 東三河広域連合企画の落語 ②月に一度(第1日曜日)ミニサロン開催 年12回 参加者総数 252名 【内容】 認知症予防のための脳トレゲーム 健康体操 総事業費：268,158円(内補助金：171,000円)
事業の成果等 (事業を実施した結果、どう変わったかなど)	参加者に「生活に張りができ健康になった」と喜ばれている。特に27年度はくすのき補助金をいただいて、念願の屋外例会を実施でき「花見なんてとうに諦めていた。長生きしていて本当によかった」など予想以上の喜びの声が寄せられた。 参加者が自分の周りに心を配り、支援が必要だと思われる人の情報がよせられるようになり、この3年間孤独死が発生していない。 26年度に引き続き、石巻小学校6年生の郷土学習に取り上げられ、H27.7月～H28.3月まで9回にわたり延べ68名の生徒の惨禍を見て、共に理解を深め合った。
今後の見通し (事業実施後の課題、今後の取組みなど)	参加者がほぼ定着してきているので、新しい参加者を得るための努力をする。(引きこもり状態に近い高齢者にねばり強く働きかける等) 参加者が生きがいを持ち健康寿命を延ばすのに役立つ集まりにしたい。そのため、参加者をお客さんとして迎えるのではなく、各自の能力を発揮して会の運営にもかかわってもらえることを目指していきたい。



事業名	明日も咲かそうカタクリの花
団体名	石巻西川町カタクリ山保存会

項 目	内 容
事業の概要 (取組みの内容) ※イベントや会議など人が集まる事業を実施した場合は、実施日時及び参加者数を必ず記入してください。	5月から12月までカタクリの鱗茎の生育を計るため草刈りや栗、どんぐりの木の枝打ちを行い、大雨時の雨水排水設備を実施しました。1月以降は、斜面や見学通路の整備、点検して開花を待ちました。27年5月から28年3月まで延べ98人で作業しました。27年8月には、排水設備の工事が完了しました。2月末には、チラシを作成し西郷校区市民館、石巻地区市民館、オレンジプラザに掲示していただきました。カタクリ山では、昨年同様、チラシを自由にもって行ってもらいました。昨年よりカラーコーン（豊橋市産業部観光振興課）を多く道路に置き駐車しないように注意喚起しました。 総事業費：572,000円（内補助金：275,000円）
事業の成果等 (事業を実施した結果、どう変わったかなど)	排水設備の工事により大雨時には、排水管から道路側溝に雨水が流れるようになり、今後は、斜面の崩落がなくなると思います。カタクリの花は、3月20日ごろが見ごろとなりました。今年も多くの方が見学に訪れました。カラーコーンを多くした為、前面道路への駐車がなくなりました。又豊橋市建設部河川課の協力で郷道川の滝講演の駐車場が開けられて駐車場が増えました。山には、簡単なベンチを設置したので腰を下ろしてゆっくり花を鑑賞してもらえたと思います。現在会員は、12人となっています。
今後の見通し (事業実施後の課題、今後の取組みなど)	1、今後も持続的に見学者に安全に鑑賞してもらうため、遊歩道管理、斜面管理、排水設備の維持をしカタクリ山を憩いの場としていく。 2、過去に崩落した斜面へ花の移植 3、駐車場の案内看板を多く設置



事業名	第2回 豊橋ふれあい親子ペア将棋大会
団体名	豊橋ふれあい子ども将棋教室

項 目	内 容
事業の概要 (取組みの内容) ※イベントや会議など人が集まる事業を実施した場合は、実施日時及び参加者数を必ず記入してください。	親子 もしくは 祖父孫 のペア (一方が小中学校生徒) 豊橋市在住 13組 その他 名古屋、半田、岡崎、蒲郡、湖西、浜松 7組 計20組 40人が一堂に集まり、将棋の対戦を通じて普段培ってきた親子との絆と、異なる地域同士の交流により友情を芽生えさせて、大切に育む場とする。世代・地域を超え、伝統的秩序ある遊びゲームをすることにより、健全な心の繋がりを手軽に作ることが可能となると思われます。 スタッフ 12名 招聘講師 2名 指導対局 受講者 10名 以外の ギャラリー 20名～30名他 含めると トータルで 百名 前後の方が参加されたと思われます。 総事業費：204,605円 (内補助金：129,000円)
事業の成果等 (事業を実施した結果、どう変わったかなど)	普段 個人同士でしか対戦していない将棋の対局を通じて、協同して意思を通じて、起承転結が整った、一つのストーリーを紡ぎだす。勝利して歓喜する者、敗北を喫して残念がる者。好対照ではあるが、諦めず、最後まで挑戦するペアには、頑張りに値する賞が用意されていて、一組を除いて残る組全員が、大会終了まで参加されました。
今後の見通し (事業実施後の課題、今後の取組みなど)	さらに来年、再来年、第3回、第4回と続けて、回を重ねて、豊橋市の名物、特長ある夏の風物詩へと全国から注目を浴びるような催し事にできたらと思います。来年は親子枠にプラス兄弟枠の設置も考慮しています。豊橋市を中心とした東三河地域圏内に将棋という伝統文化親子競技を大会として実施することで、密接で幅広い人間交流の場が生まれれば、地方創生にとって良い刺激になると思います。



事業名	第8回ゆいフィールコンサート
団体名	特定非営利活動法人 福祉住環境地域センター

項 目	内 容
事業の概要 (取組みの内容) ※イベントや会議など人が集まる事業を実施した場合は、実施日時及び参加者数を必ず記入してください。	日時2015年8月1日(土) 1:30PM会場 2:00PM開演 会場 豊橋市民文化会館(豊橋市向山大池街20-1) 大ホール 参加者293名(有料参加者173名・無料参加者120名) 今年のテーマは「ジブリの森のものがたり」 宮崎駿の作品は、魔女の宅急便、となりのトトロ、もののけ姫、風の谷のナウシカ、天空の城ラピュタ、千と千尋の神隠しなど多くの作品が残ります。彼の社会に向けたまなざしがこどもたちの視点を借りて、物語の中で躍動し多くの人々に大切なところと生きる力を届けてきました。環境問題、平和と反戦、反原発を背景に彼が伝えたかったこと。生きとし生けるものたちに贈る未来への熱いメッセージ。今、私たちは一人では生きていけない。共に支えあい、たすけあい、生命への感謝の気持ちを持って生きたい。短いプログラムの中に、私たちは、テーマ「ジブリの森のものがたり」を通じて、一つになればと思います。 第1部「ジブリの森のものがたり未来へ」 ・県立豊川特別支援学校高等部パフォーマンス部が「崖の上のポニョ」をダンスで表現して披露。 ・鈴木あきら&前川幹子サンがオカリナ&ピアノで「はにゅうの宿」他1曲を披露。 ・手塚誠サン(精神障がい者)が第5回とよはし音楽祭グランプリ曲「蛍」他ジブリ作品2曲を披露。 ・松橋貴サンと待井裕太サンのユニット「ナイロン兄弟」がクラシック小品の「愛のあいさつ」をギターで披露。 ・松本みどりサン(身体障がい者)を中心とするバンド「松本みどりグループ」が「いつも何度でも」他2曲を披露。 ・松本みどりグループと WAC 合唱団(知的・精神障がい者)と白井善秀サン(精神障がい者)が「君をのせて」を披露。 ・松本みどりグループと WAC 合唱団(知的・精神障がい者)が「カントリーロード」を披露。 第2部「ジブリの森から子どもたちへ」 豊橋市立中部中学校吹奏楽部が「スタジオジブリ名曲集」を披露。 ジャズボーカリスト柳瀬けいこサンの「柳瀬けいこグループ」が「愛は花、君はその種子」他2曲を披露。 磯貝史治サン(精神障がい者)が第5回とよはし音楽祭審査委員特別賞受賞曲「森の玉手箱」を披露。 団野利男サン(精神障がい者)が第5回とよはし音楽祭金賞受賞曲「心の罅」を披露。 団野利男サンと柳瀬けいこグループが「風になる」を披露。 県立豊橋商業高校吹奏楽部が「となりのトトロ」他1曲を披露。 総事業費：789,712円(内補助金：206,000円)

事業の成果等 (事業を実施した結果、どう変わったかなど)	第8回目を迎えるゆいフィールコンサート。障がい者と市民と一緒に作り上げ、一定の評価は受けていると思いますが、一般市民レベルのイベントとしては今一步のところでしたが、今回、地域の学生、豊橋中部中学吹奏楽部、豊橋商業高校吹奏楽部が快く出演してくれました。中部中学の3年生は、このゆいフィールコンサートが中学生生活最後の演奏になり、引退とのことでした。生徒さんの思いは感動的でした。高校生は、さらに研鑽されているだけあって、上手でした。養護学校のパフォーマンス部が素敵でした。 第7回の反省会の時、テーマを次回はジブリの曲を歌いたいと障がい者メンバーからはじめて、提案がありました。東京の三鷹のジブリ美術館を見学研修を実施（東京スカイツリー・横浜も行きました）し、ジブリ作品の曲を選曲し、出演者へ曲目の割り振り、依頼、ステージが弱くなりそうな方はコラボステージの依頼とすすめてきました。障がい者メンバーもかなり参加のスタイルが積極的になり、変わってきました。リハーサルもプレゆいフィールとして、1週間前の実施し、集まれる出演者や当日のメンバーが集まり、確認や調整、コラボの確認をお互いにしあい、親睦も深まりました。 舞台の演奏や歌唱は、回を重ねるごとに、テーマは違っていても自画自賛かもしれませんが感動の舞台に仕上がっています。 でも、ゆいフィールコンサートは「感動」を伝えるコンサートであると同時に市民参加が不可欠に思います。今回は、一步前に進めたと思います。障がい者の理解を進めるには一緒に汗を流したり、彼ら彼女たちを良く知ることから始まります。 毎年、運営や企画は新しいメンバーも加わるので、特に当日の運営は、反省ばかりですが、それも一人一人のチャレンジする力を育てる意味では、少しの失敗も次に一人一人が体験として育っていけばと感じています。
今後の見通し (事業実施後の課題、今後の取組みなど)	どう変わったかは、立場により違いはあると思いますが、障がい者も市民も少しずつ成長していることは間違いないと信じています。但し、来年は更なるプロモーションの充実を努めたいと思います。 来年も、第9回ゆいフィールコンサートが7月23日（土）豊橋市民文化会館大ホールで開催を予定しています。豊橋市の規制緩和と広報支援そして多くの市民の皆様の応援を期待しています。 テーマはディズニーです。（募集の中より決定） 当日の様子は http://www.barrinavi.jp/ バリナビTVで放映中です。



事業名	第5回市民後見フォーラム
団体名	特定非営利活動法人 たすけあい三河

項 目	内 容
事業の概要 (取組みの内容) ※イベントや会議など人が集まる事業を実施した場合は、実施日時及び参加者数を必ず記入してください。	日時 2015年9月26日(土) 13:00~16:30 会場 豊橋市民センター(松葉町カリオンビル) 参加者名(有料参加者35名・無料参加者22名) 私たちの生活を支えるサービスには、国県市町村が行う行政サービス(公助)と行政と市民が協働で行うサービス(共助)があります。私たち NPO 法人の活動は共助をめざします。人口減による働く担い手が減少し、超高齢化社会を迎える現在、税金の負担の増大を望むのか。行政に頼るばかりでなく、市民が自ら地域の問題に立ち上がり解決の道を歩むのか。私たちは、市民が自立し、行政とは横に広がるネットワークを組み活動を広げていく道を選択しました。「市民による市民のための成年後見」の実現をめざして・・・2013年6月には認知症高齢者全国で462万人となりました。豊橋市で約1万人、東三河全体で約2万人の方々が後見を必要としています。さらに緊急を要する方が2割4,000万人存在します。今こそ私たちは安心安全な東三河の実現を生活からまちづくりまで市民後見フォーラムを通してみんなで考えてみたいと思います。 第1部 ・基調講演1 テーマ「今から準備! 家族信託の地域社会での必要性を考える」 一介護の現場や親の認知症対策としての家族信託活用を学ぶ 一般社団法人家族信託普及協会 家族信託コ-ディネーター 大石 哲氏 ・基調講演2 テーマ「安心できる地域ひとにやさしいまちづくり!」 一大阪守口市の事例から 行政と地域包括・市民後見の連携について学ぶ 市民後見センターおおさか/NPO 法人ゆうかり 理事長 佐藤 守氏 第2部 ・対話形式ディスカッション 「地域での行政と専門職・市民後見人の役割と連携について」 弁護士法人 清水誠治法律事務所 弁護士 清水 誠治氏 市民後見センターおおさか NPO 法人ゆうかり 理事長 佐藤 守氏 豊橋市役所 長寿介護課 主幹 加藤 充洋氏 豊橋市社会福祉協議会 成年後見支援センター 主任 古地 英明氏 市民後見センターとよはし/NPO 法人たすけあい三河 代表 加藤 政実 総事業費: 378,685円(内補助金: 187,000円)

事業の成果等 （事業を実施した結果、どう変わったかなど）	「市民後見が、なぜ定着しないのか、後見はなぜ必要なのか」というテーマにいろいろな立場の講師の話で、住み分けが必要だろうし、そういうものがあることに気づけたことが成果であった。一步を踏み出した感じがした。フォーラムに来場するかたの、レベルは上がってきており、みなさん、真剣に取り組んでいらっしゃる、ケースをそれぞれ抱えていらっしゃる方、熱い想いのかたが多く、そういった仲間が多くいることに研鑽されたようであった。 どう変わったかは、立場により違いはあると思いますが、少しずつ進歩していることは間違いないと信じています。
今後の見通し （事業実施後の課題、今後の取組みなど）	個別なケースを、参加者が抱えており、ケースを相談したり、検討したり、情報交換や共有する機会が欲しいというニーズが多かった。ケースに対応したり、ケース発表したりできるようなフォーラムを開催していきたい。



事業名	ひまわりの会 ひきこもりの勉強会
団体名	ひまわりの会

項 目	内 容
事業の概要 (取組みの内容) ※イベントや会議など人が集まる事業を実施した場合は、実施日時及び参加者数を必ず記入してください。	月に一度、保健所にて親の会を開き、お互いの情報交換を行う。又講師を招きアドバイスをいただきながら学ぶ。時には他の市町村の人達共交流を持っています。 活動の目的は当事者の社会参加に向けて親自身も視野を広め、学び、心豊かに交流を深め、当事者の将来を親としてサポートしていく。 イベントとして昨年10月29日に講師を招き、広く市民に呼びかけ講演会を行いました。50名近い参加者がありました。 総事業費：161,335円（内補助金：96,000円）
事業の成果等 (事業を実施した結果、どう変わったかなど)	講演会参加を市民によびかけた結果50名近い参加者がありました。その内何名かはひまわりの会員になり、共に活動するようになりました。当事者の参加もふえ、セーフティネットや事業所につなげる事が出来ました。
今後の見通し (事業実施後の課題、今後の取組みなど)	今の活動を継続しながら、保健所ネットワーク（セーフティネット、オレンジブラザ）との協働活動をします。広報、チラシ等で会員を増やします。ひきこもりの人の自立に向けて取りくみます。



事業名	前芝 川灯ろうまつり
団体名	みなと塾

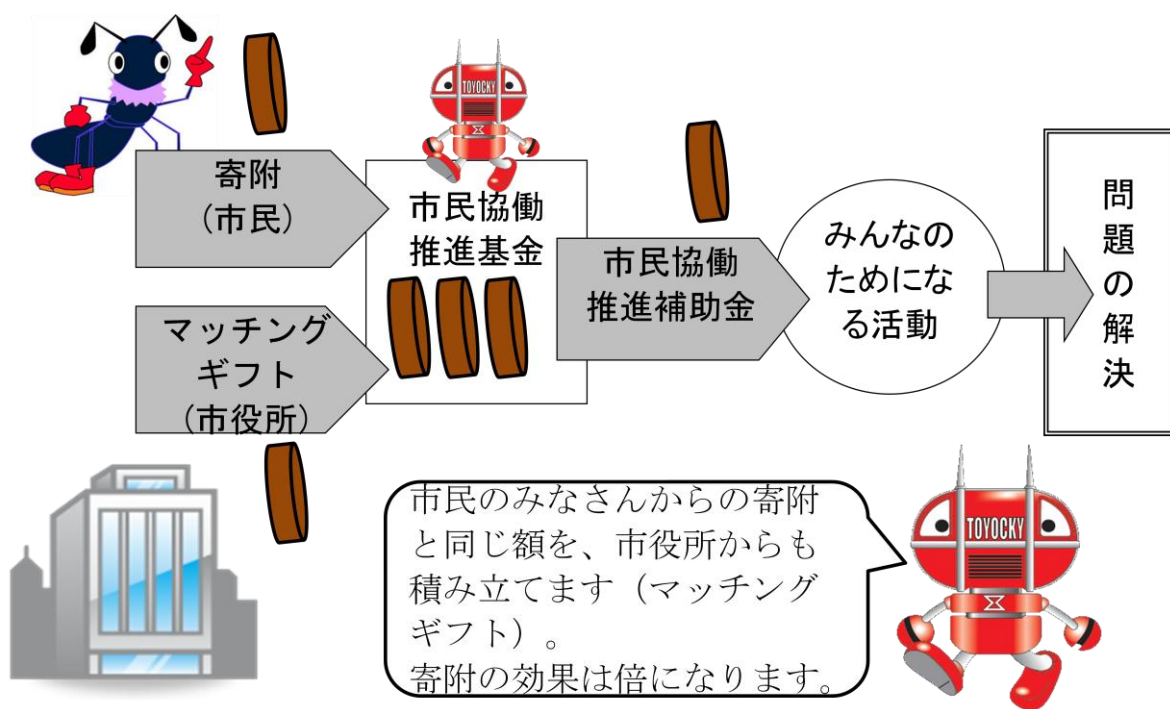
項 目	内 容
事業の概要 (取組みの内容) ※イベントや会議など人が集まる事業を実施した場合は、実施日時及び参加者数を必ず記入してください。	二川の「灯籠で飾ろう二川宿」を参考に、青年団の盆踊りと連携をし、地域を盛り上げるため、前芝川灯ろうまつりを実施しました。 8月14日(金)・15日(土)ともに午後7時から午後9時まで、豊川放水路の前芝地内堤防上へ560基の灯ろうを並べ、多くの人に見てもらうことができました。 前芝保育園は独自にペットボトル灯ろうに幼児全員が絵を描き137基の参加。前芝小学校はみなと塾提供の灯ろうに4・5・6年生が絵を描き120基参加。絵手紙教室のメンバーはペットボトル灯ろうで20基の自主参加であった。一般募集では180基のほかに、特製灯ろう100基の寄付などもあり、当初300基並べる予定であったが、予想以上に大勢の方に参加してもらうことができた。 またボランティアも当初10人程度としていたが、40人近い方が応援してくれ、なお、消防団にも快く2日間警備をしてもらうことができた。 総事業費：230,285円(内補助金：153,000円)
事業の成果等 (事業を実施した結果、どう変わったかなど)	初年度であったが、二川の「灯籠で飾ろう二川宿」より、適宜助言をもらえうまく連携できたのは良かった。 灯ろう作りも多くの参加者が一同に集まることでコミュニケーションを図ることができ、なお、自分の灯ろうを手作りすることにより、マイ灯ろうとして参加の意識を高めてもらうことができた。そのため、2日目の最後の消灯後の灯ろうの回収も、ほとんどの方が出向いてくれ、それぞれ家へ持ち帰ってもらうことができた。 また、自主的に特製の灯ろう100基を寄付してくれる方もあり、この100基を協力してくれたボランティア、消防団、各種団体に提供することができた。 初めてのことなので何が始まるかと見ていた人も、これで川灯ろうまつりがどういうものであるか様子がわかってくれたものと思う。
今後の見通し (事業実施後の課題、今後の取組みなど)	灯ろうを並べる川辺と青年団の盆踊りをしている公園が少し離れているので、盆踊りのにぎやかさに、どの程度貢献できたか心配な点があった。今後はもう少し公園に接近して灯ろうを並べたいので、堤防以外の場所へも並べられるように関係機関とも相談していきたい。 地域の方々には今年の様子を見てもらえたので、来年は参加者は増えるものと期待するが、自治会にも積極的に働きかけ、盆踊りとともに地域全体のコミュニケーションが図れる場となるようにしたい。 そして、地域以外の方が見学に来られた場合、駐車に困ると思われるので、この点も見据えて関係機関とも相談しながら進めていきたい。 将来的には放水路の両岸堤防に灯ろうが並べ、前芝(豊橋)の夏の風物詩となるようにしたいものである。



事業名	在宅高齢者のふれあい健康増進コミュニティ
団体名	特定非営利活動法人 オアシスG・J・B

項 目	内 容																																							
事業の概要 (取組みの内容) ※イベントや会議など人が集まる事業を実施した場合は、実施日時及び参加者数を必ず記入してください。	コミュニティーサロン「オアシス」を開催 70歳以上の高齢者対象 月1回（1月を除く）第2土曜日開催 <table><tr><th>開催日</th><th>参加者数（名）</th><th>内 容</th></tr><tr><td>4月</td><td>46</td><td>健康体操</td></tr><tr><td>5月</td><td>41</td><td>認知症のこと学ぶ</td></tr><tr><td>6月</td><td>48</td><td>ビンゴゲーム</td></tr><tr><td>7月</td><td>47</td><td>間違い探し</td></tr><tr><td>8月</td><td>44</td><td>ストレッチ体操</td></tr><tr><td>9月</td><td>49</td><td>ビンゴゲーム</td></tr><tr><td>10月</td><td>50</td><td>セミナー税務講座</td></tr><tr><td>11月</td><td>45</td><td>健康食品（地域包括支援センター）</td></tr><tr><td>12月</td><td>46</td><td>みかんつかみ取り</td></tr><tr><td>2月</td><td>43</td><td>セミナー（終活講座）</td></tr><tr><td>3月</td><td>42</td><td>ビンゴゲーム</td></tr><tr><td>合計</td><td>501</td><td></td></tr></table> 総事業費：419,930円（内補助金：142,000円）	開催日	参加者数（名）	内 容	4月	46	健康体操	5月	41	認知症のこと学ぶ	6月	48	ビンゴゲーム	7月	47	間違い探し	8月	44	ストレッチ体操	9月	49	ビンゴゲーム	10月	50	セミナー税務講座	11月	45	健康食品（地域包括支援センター）	12月	46	みかんつかみ取り	2月	43	セミナー（終活講座）	3月	42	ビンゴゲーム	合計	501	
開催日	参加者数（名）	内 容																																						
4月	46	健康体操																																						
5月	41	認知症のこと学ぶ																																						
6月	48	ビンゴゲーム																																						
7月	47	間違い探し																																						
8月	44	ストレッチ体操																																						
9月	49	ビンゴゲーム																																						
10月	50	セミナー税務講座																																						
11月	45	健康食品（地域包括支援センター）																																						
12月	46	みかんつかみ取り																																						
2月	43	セミナー（終活講座）																																						
3月	42	ビンゴゲーム																																						
合計	501																																							
事業の成果等 (事業を実施した結果、どう変わったかなど)	高齢者の参加は、年間500人の目標を達成できた。高齢者だけの世帯の安否確認の目標を達成できた。 ゲームなどで楽しく過ごしてもらえ、高齢者の元気につながった。 税務講座、終活など自分たちの生活を考える勉強会ができ、参加した高齢者の意識に変化が生まれた。																																							
今後の見通し (事業実施後の課題、今後の取組みなど)	新年度の高齢者の参加率を上げたい。 内容の充実を図るには、会員の拡充と会員の専門的知識の習得のための勉強会が必要。 実行予算の不足解消は大きな課題であり、新年度は寄付金獲得に積極的な活動を進めたい。																																							

トヨッキー基金



【アーリーくんが寄附してくれたお金は、倍になって「みんなのためになる活動」に使われます】
（市民協働推進補助金はトヨッキー基金（市民協働推進基金）から交付されています）



豊橋市 文化市民部 市民協働推進課

〒440-8501

豊橋市今橋町1番地(西館4階)

TEL：0532-51-2483

FAX：0532-56-5128

MAIL：shiminkyodo@city.toyohashi.lg.jp